

研究機関名：独立行政法人日本スポーツ振興センター

研究の概要：オリンピックなどの国際試合を前提としたハイパフォーマンス・スポーツでは、試合や練習の映像データ活用は必要不可欠である。また、競技団体のパフォーマンス向上を目的とした場合、ネットワーク配信を利用した映像データの情報共有が有効な手段だと考えられる。

そこで本研究は、選手、監督、コーチなどを含む競技団体を対象として、映像データの配信に使用するアプリケーションや、画質、画角、拡張子などのパラメータ変更が、パフォーマンス向上に及ぼす影響について検討を行う。

期待される効果・目標：テストベッド上に構築した、競技団体のパフォーマンス向上を目的として、映像や分析結果等のデータを一元管理することができる、LIFE's netを構築。スポーツ分野において、競技団体のパフォーマンス向上を目的として、ここまでの機能を有したシステムを構築した前例は無い。また、社会的効果としてJGNを利用した本システムは、複数競技において日本選手の国際大会等での活躍にも貢献していることが挙げられる。

テストベッドの活用シーン



NICTテストベッド (JGN)
に LIFE's net を構築。
映像の蓄積、パフォーマンスの
分析・解析を行い、エンドユー
ザに映像や分析結果を配信。



“見たい時に” “見たい場所で”
“見たいように” を実現する為に、
引き続きNICTテストベッドを
利用して研究継続中。



本研究は リオ
オリンピック・パ
ラリンピックでも
成果が出ています

- 日本代表選手団の総合結果について -
1. オリンピック種目
金 12個 銀 8個 銅 21個
(金 5個 銀 4個 銅 3個)
 2. パラリンピック種目
銀 10個 銅 16個
(銀 2個 銅 6個)
- ※ () 内はシステム利用競技の獲得数

※一部資料は日本スポーツ振興センターさま発表資料より引用